

「生命の世紀」を支える医薬品 産業の国際競争力強化に向けて

～医薬品産業ビジョン～

平成14年8月30日

厚生労働省

《 目 次 》

I. 医薬品産業ビジョンの目的と役割

1. なぜ国際競争力の強化が必要なのか
2. 魅力ある創薬環境の場づくりと国内資本の製薬企業の競争力強化
3. 医薬品産業ビジョンの役割

II. 医薬品産業を取り巻く環境の変化

1. 生命科学の飛躍的發展
2. グローバル化の進展と国際競争の激化
 - (1) グローバル化の進展
 - (2) 国内市場における外資系企業との競争激化
 - (3) 国内における M&A 増加や資本市場の変化等
 - (4) ベンチャー企業や新しい受託業の興隆
 - (5) 「ゲノム創薬」に向けた研究開発国際競争の激化
3. 急速な少子高齢化の進展等に伴う医療費の増大
4. 医療に対する国民の意識の変化

III. 医薬品産業の現状と課題

1. 市場の特徴
 - (1) 市場規模
 - (2) 市場構造
2. 産業の特徴
 - (1) 産業構造
 - (2) 国際競争力
 - (3) 企業規模
 - (4) 技術・研究開発の状況
 - (5) 販売力

IV. 医薬品産業のスパイラル発展のメカニズムと将来像

1. 医薬品産業のスパイラル発展
2. 医薬品産業の将来像（10年後の姿） ～国際競争力のある医薬品産業の構造～
3. 医薬品卸売業の将来像
4. 医薬品小売業の将来像

V. 医薬品産業政策の基本的考え方

1. 企業自身による戦略的な経営展開
2. 国の役割
3. イノベーション促進のための集中期間の設定と政策の実施
4. 企業に着目した産業政策（ミクロ面）
5. 市場に着目した産業政策（マクロ面）

VI. 「イノベーション促進のための集中期間」（5年以内）に行う具体策

1. 政府における取組みの強化・推進
 - (1) 政府全体としての総合的な対応
 - (2) 関係省庁等における積極的な取組み
2. 国際競争力強化のためのアクション・プラン
 - (1) 研究開発に対する支援
 - (2) 治験等の臨床研究の推進
 - (3) 薬事制度の改善
 - (4) 薬価制度・薬剤給付の今後の在り方
 - (5) 後発医薬品市場の育成
 - (6) 大衆薬市場の育成
 - (7) 流通機能の効率化・高度化
 - (8) 情報提供の推進
 - (9) 事業再構築や産業再編に伴う雇用の安定確保

VII. 終わりに

注) この報告書において、日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業—国際競争力の視点から—」(2001.5)をはじめ内外の数多くの文献や調査報告書を引用させていただいており、関係者の方々に感謝を申し上げます。